

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	西つつじヶ丘	美山台1丁目水道管更新について	<p>西つつじヶ丘地内においては、開発当初の配水管の多くに石綿セメント管が使用されており、老朽化に伴い漏水事故も多かったことから、平成元年前後には下水道工事と合わせ布設替工事や計画的な工事を実施してきました。当時更新を対象としなかったビニル管や鋳鉄管の配水管が残っておりますので、老朽管更新の計画によりまして、美山台1丁目と大山台2丁目を対象としまして順次更新工事を行う予定としております。</p> <p>今後の予定といたしましては、今年度は西つつじヶ丘地内での西つつじヶ丘配水池と平和台配水池との切り替え工事計画しております。平成31年度につきましては、配水池の撤去工事を、その後平成32年度から順に美山台1丁目、大山台2丁目の配水管の更新工事を予定しております。なお、配水池の撤去工事をまず実施することを前提に進めることを予定しておりますので、実施時期の確定につきましては、今後自治会とも調整を行っていきたくて考えておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>水道の計画としては、まずは配水池の切り替えと撤去、その後美山台の更新工事を予定しております。同時に行いますと、工事の方も出合帳場になりますので、計画的に順次行っていきたくて思っております。</p>	上下水道部長	②実施予定	<p>こん談会での回答のとおりです。</p> <p>今年度工事計画をしていました西つつじヶ丘配水池と平和台配水池との切替工事につきましては、11月に業者が決定し、3月中旬までの工期で工事を行う予定としております。平成31年度の配水池撤去工事、平成32年度からの更新工事についてもこん談会での回答と相違ありません。</p>
2	西つつじヶ丘	<p>【質問事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美山台の水道管の更新に合わせて、馬の背の部分の道路改修を行ってもらえないか ・工事時期を早めることはできないか 	上下水道部と協議をしていきたくて思っております。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
			<p>配水池の切り替えと撤去の後に美山台の工事を予定しています。</p> <p>漏水の状況により計画の変更は検討するかもわかりませんが、時期についてはまちづくり推進部と調整を行っていきたくて思っています。</p>	上下水道部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
			<p>コミュニティバスについて、まずは下まで開通させていただき、馬の背の箇所が整備でき、バスが安全に通行できると判断すれば、何とかしていきたいと思ひます。時期についてもなるべく早くしたいとは考えていますが、水道の切り替えというのはインフラで大変重要なもので、一つ間違ったことになれば生活ができないということになりますのでご理解いただきたいと思ひます。</p>	市長 (まちづくり推進部) (上下水道部)	③検討	こん談会での回答のとおりです。
3	西つつじヶ丘	水道タンク撤去の今後の見通しについて	<p>現在亀岡市の水道事業につきまして、平成5年に取得した上水道第5次拡張計画を基本に、時代の変化に合わせて見直しを行いながら整備を推進してまいりました。その中で、西つつじヶ丘の配水池におきましては貯水容量の増大や耐震の補強が必要となっていることによりまして、千代川浄水場系統の湯井配水池と相互運用を可能とするための配水池として、下矢田町に平和台配水池を計画し、完成後は西つつじヶ丘の配水池2池とも廃止する計画としていました。平成18年に平和台配水池が完成しました。それ以降、三宅浄水場系統との送配水管整備を進め、さらに三宅浄水場の送水ポンプ等の工事も行い、平成28年度で完了し、本来の運用に向けた切り替えの準備を進めてきたものです。</p> <p>平成30年度で西つつじヶ丘配水池から平和台配水池への切り替え作業を予定しており、切り替えが完了すると西つつじヶ丘配水池2池とも機能停止します。</p> <p>跡地の使用につきましては、水道用地として取得した経過がありますので、取り壊し後どのように活用するのが最も良いのかを検討し、自治会とも調整させていただきたくて思っております。</p>	上下水道部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
4	西つつじヶ丘	歩道の補修整備について	<p>市内の街路樹につきましては、植えられてから相当の年数が経過しておるものが数多くあり、根上がり等路面の凹凸が発生して、対応が必要となってきたところが多く見受けられます。そういった中、西つつじヶ丘地内につきましても、適宜対応させていただいているところです。</p> <p>ご指摘のとおり、そういった箇所があるということでございますし、郵便局から小学校の間につきましても、これまでも対応させていただいており、倒木の危険があるような街路樹は伐採をし、植樹を撤去したと理解しております。その他の場所も含め優先度等を協議をさせていただきながら対応させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
5	西つつじヶ丘	リサイクル品集積所設置業者への対応について	<p>環境市民部のへは何の情報もアプローチもないという現状です。保健所へも問い合わせをしましたが、今のところ何も聞いていないということでございます。どういものが来るのか全く分かりませんので、産業廃棄物であっても、一般廃棄物であっても保管の場合の許可とか積み替え積み下ろしの許可の要らないものもありますし、実物を見ないと何とも言えないというところです。</p>	環境市民部長	①実施	施設設置事業者へと出向かい、事業内容についての聞き取りを行ったところ、紙類などのリサイクルのみを行うものであり、廃棄物処理ではないので、特に指導の必要な施設ではありませんでした。しかしながら、事業執行にあたっては、地域の環境保全や近隣住民への配慮を欠くことの無いように要請し了解を得ているところです。
			<p>どのような計画か現状では全く承知しておりませんので、どのようなものができるかはお答えすることはできませんが、建築物を建築される場合は建築基準法による建築確認が必要となり、計画地の位置や規模によっては都市計画法による開発許可が必要となることもあります。設置される工作物が建築物に該当するかは特定行政庁である京都府南丹土木事務所での判断となりますので、連携を図りながら適切に対応してまいります。</p>	まちづくり推進部長	①実施	京都府南丹土木事務所に当該地に設置されている工作物が建築物には該当しないことを確認しました。よって、都市計画法上も許可手続きを必要としない行為として判断しております。
6	西つつじヶ丘	頼政塚北法面の整備について	<p>当該地につきましては、木の生えている部分から下は亀岡市の土地となります。法面の裾に雨水の排水路があり、その清掃や、草刈は随時行っておりますが、なかなか行き届かないところもあり、日頃ご迷惑をおかけしていることはお詫び申し上げます。ただ定期的に西側の部分は、草刈をしており、他のところについても雑木が枯れると危険ですので、定期的に確認をしております。あの法面にはモルタルの吹付がしてあるのですが、学校側は一部吹付がしておらず、竹が生えているところがありました。そこは先日刈らせていただきました。そういった形で維持管理に努めております。今後も危ない木を注意しながら管理をしていきたいと思っております。</p> <p>また気が付いたところを言ういただきながら管理をしていきたいと思っておりますし、今のところは今までと同じように管理をさせていただきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>	まちづくり推進部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
7	西つつじヶ丘	年谷川(雲仙橋上流側)右岸擁壁の亀裂について	<p>川底から言いますと擁壁が三段構造のようになっておりまして、一番上の石積みに亀裂が入っているということで、その安定性が危惧されているということはこれまでからも意識しております。管理という話もございましたけれども、ご指摘の石積みは亀岡市の管理であると認識しております。</p> <p>毎年春先に草刈等もさせていただきまして、構造物の状況も目視ではありますが、確認を行っているところでございます。この法面につきましては、以前から危険であるというご意見をいただく中で、危惧されているということは認識しておりますし、これまでに上の市道の道路配水が側溝を越えて法面に水が流れると、丁度亀裂のあるあたりに水が流れるということがあり、当時、配水処理対策というものをさせてもらって、それは一定効果があったと思っております。先ほどご心配されましたとおり、先の北部地震、豪雨を受けまして、その後も現地を見させていただきましたが、新たな動きは見られませんでした。今後につきましても経過を見させていくとともに一番大きいクラックの修繕、応急対応について検討していきたいと思っております。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	石積みのクラックの修繕については、30年度に実施しました。
8	西つつじヶ丘	美山台1丁目北西(年谷川右岸)擁壁の亀裂について	<p>こちらにつきましても、擁壁とともに上の路面の状況というものを特に道路管理者として注視して確認を行っているところでございます。ここにつきましても、同様に見させていただきましたが、最近になっての顕著な変化は確認できませんでした。このこん談事項の中にクラックの調査を取り組んでいただいた結果についても添付いただいておりますが、市としても定点で開きが起こっているのであれば、それを経常的に見ていくような観測をしていきたいと思っております。定期的というのも最初一月程度させていただいて、その状況に応じて、変化がないのであれば間隔を開けたりしながら実施したいというのと、その結果を踏まえて、専門業者への調査依頼等も含め、結果に応じて検討していきたいと考えております。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
9	西つつじヶ丘	【質問事項等】 自治会館の建替えについて	<p>この自治会館の設置年月日等は今資料がないのでわかりませんが、各町の自治会館の改修については市の一定の補助の制度がありますので、それについては計画をしっかりと聞きながら、どういった修繕をするかまた協議をさせていただきたいです。補助制度については、40%の補助率といったものですが、そういったものをお使いいただきたいと思っております。登記については経過を承知していませんが、他町の自治会についてもそういった事例がございます。</p> <p>自治活動応援交付金でも集会所の改修に使っていただくことも可能ですので、長期になるかもしれませんが、改修することを目標に募っていただく方がより集まりやすいと思っておりますので、その点もご協力いただければと思います。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
			<p>市内の中は、まだ自治会館のない地域があり、そこでも拠点があほしいという話がありました。その地区では会員の中でみなさんで積み立てを含めて、ふるさと納税で財源を集めていこうということで、行政としてもいろんな意味で協力するところは協力していくような形で、また今後土地の問題等はあると思いますが、建物については基本的に自治会で住民の方とコンセンサスをとっていただきながら、5年10年計画の中で積み立てていただくなり、財源集めをしていただいて、取り組んでいただくということで、お願いしたいところです。</p> <p>不安だという状況はわかりますし、市としても補助制度を少しずつ拡大していますが、23町の自治会に出すのは財政上難しいので、長期計画で考えていただくのも一つだと思いますのでよろしくお願いたします。</p>	市長 (総務部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
10	西つつじヶ丘	【質問事項等】 各町要員の体制について	<p>各避難所に避難所開設要員2人と各町要員1人とおよそ約3名体制で職員を派遣いたしました。それが12時間で交代するという形で、それが4日間、場所によっては20日まで続いたところがありました。そうしますと、500、600名の職員が各町要員にあたる必要がありますし、それをサイクルで動員班で当てはめながらその人に行ってもらようにしています。</p> <p>今亀岡市職員の状況は亀岡市在住が約6割、4割は市外からきておりますので、そういう状況の中で地元の者だけで回すというのは大変難しいです。しかし地域住民を守るためには、公務員としての行政職員が率先してその現場にあたって、救助・救援を含めた体制を整えていくことは使命であります。しかし、残念なことに今回は、JRが停まったということで来れない職員もありました。そういった部分は地元の職員があたって、開通してから亀岡以外の人に参加していただいた形になっておりますので、なるべく初動体制は決めておりますが、今回のように4日とか、西別院、畑野のよう2週間近くそういう状況が続いたということになってきますと到底1人2人の職員で対応できる話ではないという状況になってくるということをお伝えしときたいと思いますのでご理解をよろしくお願いいたします。</p> <p>行政としてもなるべく地元の職員が各町要員になり避難所開設要員として入るようには配備していきたいと思っております。台風でしたらせいぜい1、2日でありますが、4日となると地元のメンバーというだけではいかないと思っておりますので、その辺もご理解いただく中で、なるべく地元の者が地元には張り付くように配慮してまいりたいと思っております。</p>	市長 (市長公室) (総務部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
11	西つつじヶ丘	【質問事項等】 茶黄谷池について	<p>ため池の問題ですが、他のところでもいろいろな課題がありました。</p> <p>ため池が満水になって上から流れ始めたということで、その応急対応に農林振興課の職員が現場に張り付いたというのもありましたし、地元の消防団と連携して、水防対策をやったというのもたくさんあって、亀岡市としても0.5ha以上の耕作面積を持つため池については、調査できています。しかし、それ以外のため池については、これから亀岡市として全部把握をして現状調査を行い危険度を算定していこうと考えています。それによっては改修するとか、また今地元の方をお願いしているのが、使わないため池は廃池にしてほしいということです。これは東南海地震を考えたときに、亀岡は津波きませんが、池が崩落して土石流になるということがありますので、そういうところをなるべく減らしていくことを考えております。東日本大震災でも内陸部では池が崩落して住宅が被災したというのは多々あったという状況ですので、我々としては内陸部の地域としてため池管理をしっかりしていくということで考えていますので、茶黄谷池についても同様に考えています。何か危険度合があるようなことを察知したのであれば、まず市に言っていただければ市の職員ももちろん現地に向かいますし、土地改良区にも連絡するようにはしておりますので、現地現場主義という中で迅速に対応するように職員には指揮をさせていただく中で、引き続きしっかり管理をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>	市長 (産業観光部)	③検討	<p>防災重点ため池については、毎年市職員において点検を行っております。また、危険度については、平成25年度の一斉点検により整理しており、優先順位をつけて取り組んでおります。</p> <p>茶黄谷池については、今後ハザードマップの作成を早期に行い、ため池管理者や地域住民の防災意識の向上を図れるよう検討していきます。</p>